

応援したい！

生活協同組合コープこうべは、
2021年に創立100周年を迎えました。
次の100年も「コープのあるまち 協同のある暮らし」を
実現するために、まずは10年後のありたい姿を、
組合員、役職員の思いを集めて描きました。

そこからつむぎ出された4つのテーマは、
「つながり」「健康」「環境」「あんしん」。
ここに籠められた思いをカタチにしておくためには、
次世代を担う地域の若者が元気になること、
そしてそれをサポートしていくことが必要と考え、
給付型奨学金の制度をスタートし、
その事業を運営する財団法人を設立しました。

格差の拡大が言われる中、
コロナ禍や物価の高騰はそれを拡大させています。
当財団では、奨学金事業を通じ、微力ながら、
若者が安心して学び、成長していく
よすがとなれればと考えています。

2023年7月

理事長 岩山 利久



コープこうべの事業エリア

本奨学金は、
このエリア内に
居住されている方が
申請いただけます

京都府
●京丹後市

兵庫県全域

大阪府

●豊中市 ●箕面市
●池田市 ●吹田市
●茨木市 ●高槻市
●摂津市 ●能勢町
●豊能町 ●島本町
●大阪市
(東淀川区・淀川区・
西淀川区のみ)

奨学生:161人

(2023年6月末現在)

2021年度:82人
2022年度:79人

青少年の健全育成と
学業継続を
応援するため、
生活協同組合
コープこうべが
設立した財団です。

事務局(申請先・問い合わせ先)

一般財団法人 コープこうべ奨学金財団

〒658-8555 兵庫県神戸市東灘区住吉本町1-3-19

TEL・FAX 078-821-7170

月～金曜日 10時～17時(祝日、年末年始は休み)

コープこうべ奨学金財団 検索



コープこうべの奨学金



あした
あなたの未来
を応援!

返済
不要

めっちゃ
学びたい

かなえたい
夢がある

部活も
がんばりたい



一般財団法人

コープこうべ奨学金財団

2023年度

あなたの明日をささえるチカラに。

奨学金の概要

募集対象 (以下のすべてを満たすこと)

- 応募時点で、高等学校、高等専門学校ならびにこれに準ずる学校の1学年に在籍
- 申請者(生徒本人)がコープこうべの事業エリア(外面の地図参照)内に居住
- 申請者(生徒本人)に学習意欲があるが、経済的な事情で修学継続が困難

募集人数 80人

奨学金 (給付額)

高校1年の11月から卒業まで、毎月1万円

※初回:12月末(11・12月の2か月分)、2回目:2月末(1～3月分)、以降3か月おきに3か月分をまとめて給付します。

※返済は不要です。

申請期限

2023年10月6日(金) 事務局必着
(申請先は外面参照)

その他

他の奨学金との併給も可能です。
ただし、同時受給されるもう一方の奨学金が併給不可場合がありますので、ご注意ください。

募集の詳細や申請書式は、こちら
※申請書等の請求およびダウンロードは
9月29日(金)まで可能。



申請から給付までの流れ

7月～

募集要項入手

※右のQRコードから請求いただけます。
※はがき、FAXの場合は、送付先の〒住所・氏名を明記のうえ、事務局へ請求してください。



申請に必要な書類の準備

- 奨学金申請書 ● 収入証明書
 - 高校の在籍証明書
 - 卒業した中学校の3年次の成績や出欠等を証明する書類(通知表コピーなど)
- ※申請書等の請求およびダウンロードは
9月29日(金)まで可能。

～10月6日(金) 必着

申請書類を事務局へ送付

※書類に不備があると受理できませんので、ご注意ください。

11月中旬

奨学生(奨学金給付対象者)の決定と案内

12月末

初回の奨学金給付 (11・12月分)

Q

給付が決定したら、その後卒業まで特段の手続きなしで給付されるのですか?

A

進級時に、居住地や学校の状況を事務局が確認したうえで、引き続き給付します。
また、奨学金給付時には、学業や高校生活について簡単なレポートの提出をお願いしています。
ただし、万が一、学校をやめることになったなど給付要件を満たさなくなったときは、その時点で給付は廃止となります。

Q

奨学金の使途について決まりはありますか?

A

塾代、参考書購入、資格取得の受験料など、学業に関する支出を中心にしながら、「より充実した高校生活を実現する」という趣旨から、部活動に必要な支出に充てることなども対象となると考えます。

Q

奨学金の原資はどこから出ているのですか?

A

年1回9月に行う集中募金をはじめとする組合員からの募金と、生活協同組合コープこうべからの寄付をもとに奨学金制度を運営しています。

Each for All. All for Each.

「一人は万人のために 万人は一人のために」

